

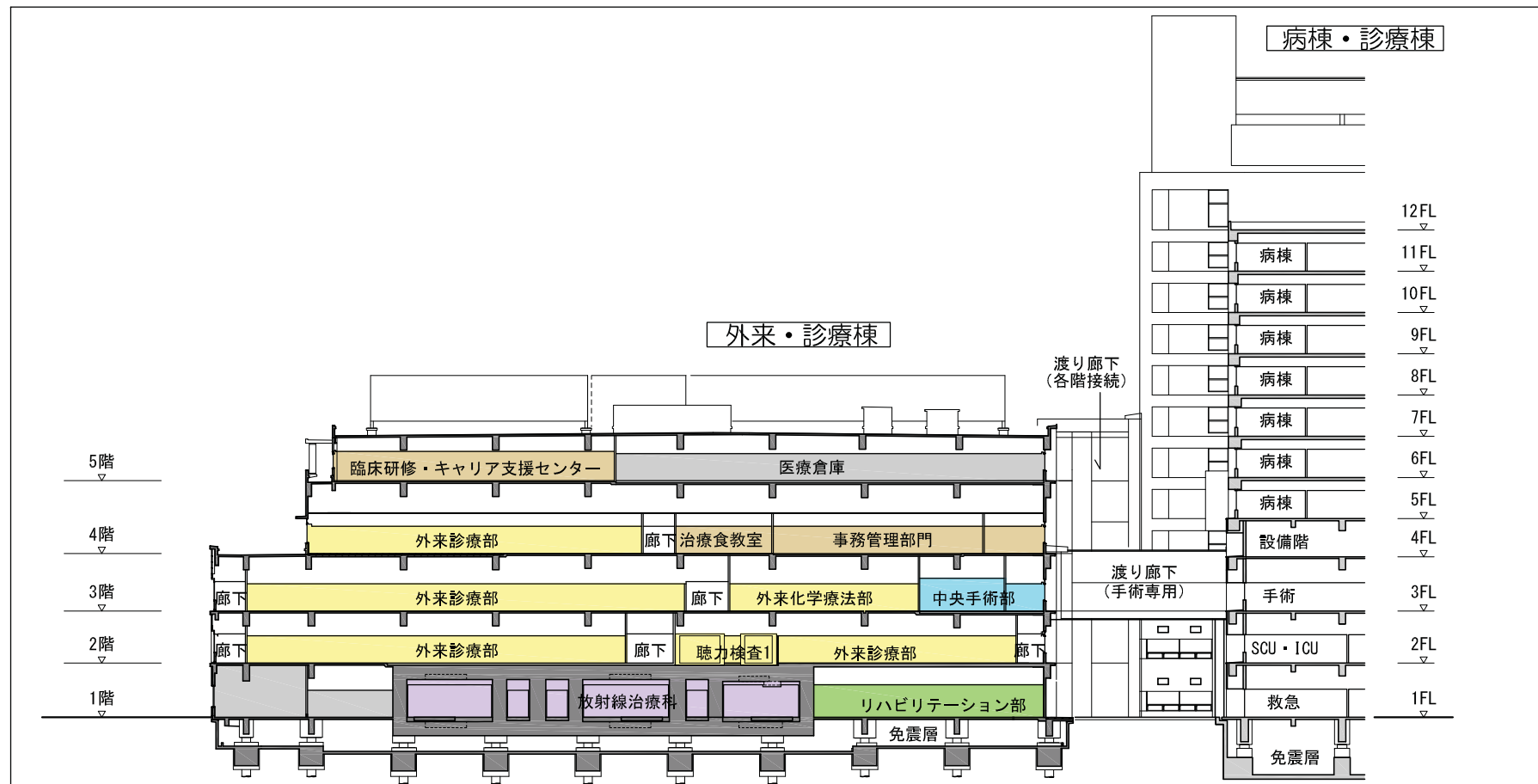
三重大学医学部附属病院 外来・診療棟



玄関廻り外観



外来・診療棟 外観（南西側から望む）



断面構成図

外来・診療棟は、「最先端医療が安全に受けられる患者様中心の病院」を基本コンセプトに、心の安らぎと癒しを提供できる病院環境を構築することを目指し診察室を96室から131室への35室増設をはじめ高度生殖医療センターの新設、がんセンターや血管ハートセンターなどセンター機能の集約化、フロアごとの分散会計の導入、卒後臨床研究部門の拡充や外来化学療法部の充実、ハイブリッド手術室を含む手術室の4室増設や手術支援ロボットをはじめ最新設備の導入など、質的向上と量的拡大の両面から、診療機能のパワーアップを図ります。

施設面では、基礎免震構造による地震時の揺れの低減、建物中央部分のメインストリート（ホスピタルストリート）および吹き抜けによる開放的な空間の配置や、吹き抜けを利用したアート作品の設置、自動制御ブラインドや経済性の高い設備システムの採用などを行っています。

建物の特徴



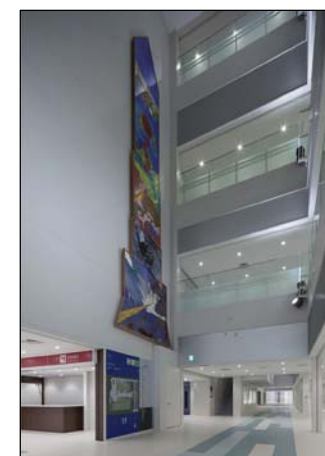
基礎免震構造

- 建物基礎部分に86基の免震装置が設置されており、地震時の揺れが低減されることで病院機能の継続が可能。



自動制御ブラインド

- 建物2～4階西面窓部に、太陽位置や照度により自動で日射を制御するブラインドを設置し、西日対策および省エネルギーに配慮。



ホスピタルストリート

- 建物中央部分にメインストリートおよび吹き抜けを設け、ホスピタルストリートとして開放的な空間で移動ができるとともに、アート作品を設置して、利用者がゆとりや潤いを感じられるスペースを確保。



壁画

- 吹き抜けに設置したアート作品の、壁画とモニュメントは、三重出身の今村幸生氏が制作したものであり、モニュメントは、三重大学演習林の藤堂杉を使用したものである。



モニュメント



R階電気室



無停電電源装置



サーバー室



守衛室監視カメラモニター



エネルギーセンター
防災センター

1. 受変電設備

エネルギーセンターから保安回路、一般回路の高圧6.6kV、2回線で受電しており、保安回路(発電設備(1,500KVA×2))は商用と系統連携を行いピークカット運転が可能。無停電電源設備は医療情報サーバー室用に100KVA×3台、OP室用に50KVAを設置し重要機器の電源供給安定化を図る。

2. 情報通信設備

1) 電話設備

エネルギーセンターに設置されている電話交換機に接続している。

2) ナースコール設備

診療・看護の質の向上、患者満足度の向上を図るためコンピュータ式ナースコールシステムを導入した。

3) 情報システム設備

院内の医療情報を一元化した医療情報ネットワークシステムに接続するため4階にサーバー室を配置した。

4) 監視カメラ設備

各階廊下等必要箇所にカメラを設置し、病棟・診療棟守衛室にて集中管理を行う。

5) 電気錠設備

スタッフエリア入口の扉等には、入室情報の管理を行うため職員証による電気錠を設置した。

3. 防災設備

病院地区全体の防災センター(エネルギーセンター)は、総合操作盤(自動火災報知・防排煙・ガス漏れ・消火)を始め、非常放送装置・誘導灯信号装置・中央監視装置等を集約設置して防災対応の一元化を図り、迅速な操作・指令を行えるシステムになっており、このシステムに接続することで施設は守られている。

1. 空気調和設備

冷温水はエネルギーセンター棟から病棟・診療棟と外来・診療棟に供給しています。外来・診療棟単独熱源は、冷却水用として冷却塔と冷却水ポンプを設置し、水冷HPに供給しています。

新鮮空気の供給は外気調和機を介して行い、温調空気を系統別に供給しています。また、エアバランスの確保に定風量装置(CAV)を設置しました。

空調機器としては、空冷HP、水冷HP、空冷クリーンHPを主に室用途によって配置しました。

- 1) 空冷HP・・・主に放射線部、化学療法部、医療情報管理部、電気室など
- 2) 水冷HP・・・各診療科、事務部、ホスピタルストリートなど
- 3) 空冷クリーンHP・・・感染診察室、眼科清潔処置室、検査部、OP室、皮膚科レーザー手術室など

2. 給排水衛生設備

給水設備は、上水・雑用水の2系統とし、隣接の病棟・診療棟RFの高置水槽より重力落下式で供給し、給湯設備も病棟・診療棟の屋上にある貯湯タンクより各所に供給しています。

3. 医療ガス設備

外来・診療棟に供給している医療ガス設備は、以下7種類になります。

- 1) 酸素・・・屋外タンクヤードの液化酸素供給装置より供給
- 2) 笑気・・・エネセン内の医療ガスボンベ庫より供給
- 3) 空気・・・エネセン内の医療ガス機械室のコンプレッサーより供給
- 4) 吸引・・・エネセン内の医療ガス機械室の吸引ポンプより供給
- 5) 窒素・・・エネセン内の医療ガスボンベ庫より供給
- 6) 炭酸ガス・・・外来棟3F設備室内のマニフォルドより供給
- 7) 麻酔ガス排除装置・・・空気配管より分岐、空気減圧装置で減圧させ排除装置に供給

4. 消火設備

スプリンクラー、易操作1号消火栓、連結送水管、消防用水を設置しました。また電気室、サーバー室には、不活性ガス(窒素ガス)消火設備を設けました。

5. 気送管設備

隣接の病棟・診療棟と気送管路を連結し、ブロワの圧送と吸引により搬送物を収納した気送子の相互搬送を行えるようにしました。

6. その他設備

4F治療食教室の天井には、空調換気、照明、SP等をパネルに取り付けたシステム天井を、3F検査部にプレハブユニット冷蔵冷凍室(空冷HP)を設置し、エネセン内中央監視システムで空調・衛生システムの操作・監視・計測・計量を表示できるようにしました。



冷却水設備



外気調和機



SUS流し台・足洗場



手術室



気送管設備



夜間スタッフ入口

- ・スタッフは、メイン玄関を通らずに、病棟・診療棟や他棟へアクセス可能



エントランスホール

- ・受付は、各受付カウンターに加え、座って相談可能なカウンターも設置



健診センター

- ・健診センターは、外来メイン動線と分離し、独自にアクセス可能

受付廻り

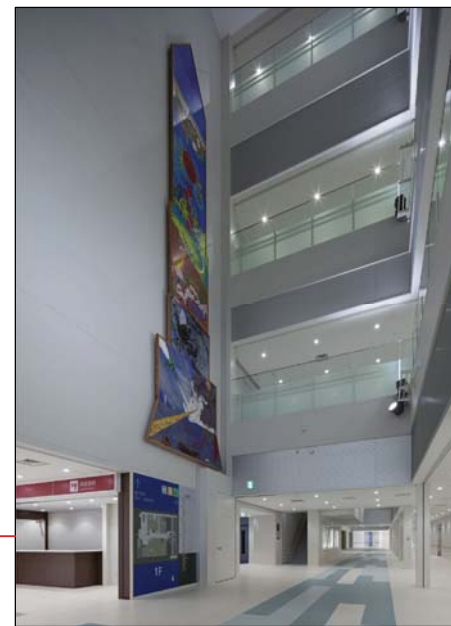
- ・主動線側に、メインの受付・会計、裏動線側に入退院等を配置して、人の集まりを意識した待合

臨床研究開発センター

- ・臨床試験の科学性・倫理性及び信頼性を確保する研究支援組織として、1階に配置

アメニティゾーン

- ・来訪者・スタッフのアメニティゾーンとして、コンビニ及びカフェを設置



ホスピタルストリート吹抜

- ・ホスピタルストリートは、開放感のある4層吹抜としアート作品を設置



放射線治療科

- ・大型の放射線治療機器（ライナック3台、マイクロ1台）や関連施設は、重量等を考慮して、1階に配置



ADL室

- ・日常生活動作訓練室（和室）

リボズハウス

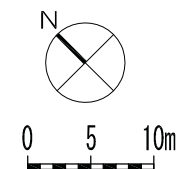
- ・三重県下のがん治療情報発信の拠点として、疾病の相談や、患者同士の交流を行う

リハビリテーション部

- ・屋外でのリハビリのため外部に移動しやすい位置に配置

車路・ピロティエ

- ・病棟・診療棟1階の、救急部門へのアクセスが可能



1階案内図



EVホール

- EVホールと外来の部門は、階により色分けし、フロアが認識しやすいよう配慮



ブロック受付

- 主動線であるホスピタルストリートに面した位置に配置
- EVホールから視認性が良く受付の場所が認識しやすいよう配慮



スタッフ通路

- スタッフは、主動線と交錯することなく複数の診察室を効率的に移動が可能

小児科・眼科

- 特殊診療科の小児科と眼科を、他の診療科とゾーンを変えて設置

中央放射線部
(X線撮影、透視、CT、MRI)

- 外来とルーチンの流れのある一般撮影部門は、2階に配置
- スタッフは、主動線と交錯することなく移動が可能



メイン階段

- ホスピタルストリート吹抜に面する開放的な階段とし、アート作品の鑑賞も可能



放射線受付

- 放射線撮影等の診察者を受け付ける場所のため、主動線であるホスピタルストリートから受付の場所が認識しやすいよう配慮

女性外来部門

- 乳腺センター・高度生殖医療センター・産婦人科は、プライバシーや感染に配慮し、主動線と分離した位置に配置

外来診察室

- フリーアドレス式に利用することを想定し、特殊室以外は形状を同一化

2階案内図



3階ホスピタルストリート

- ホスピタルストリート西側の突き当りはオープンとし外部の光が入る明るい空間を演出



トイレサイン

- サインは、視認性の良いデザインや色分けにより目的の場所が認識しやすいよう配慮



外来化学療法部

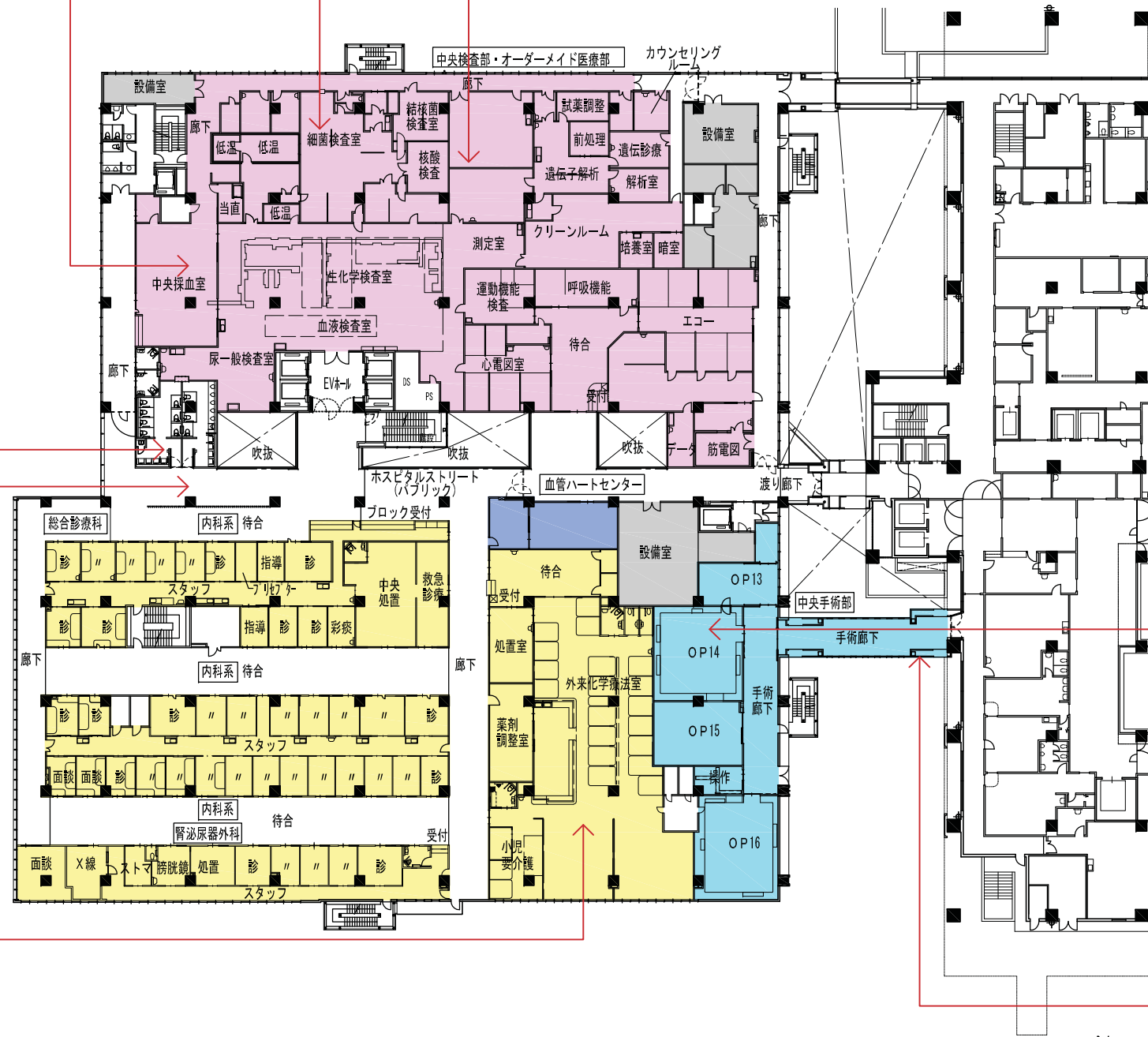
- 放射線治療と合わせ、もうひとつのがん治療の基軸として設置

中央採血室・採尿室

- 待ち時間が懸念される採血待合は、外部の光が入る明るい空間とし不安感を和らげる配慮

中央検査ゾーン

- 多様な機能を集積し、スタッフが機能的に動けるよう配慮
- 検体等の運搬は、裏動線により病棟・診療棟と連絡



3階案内図



細菌検査室

- クリーン環境や、ダーティな空気の管理、遺伝子等のセキュリティなど、高度な機能空間の構築に配慮



中央手術部

- 病棟・診療棟の機能を強化するため、手術室を4室増設
- ハイブリッド手術やロボット手術に対応した施設の整備



手術廊下

- 中央手術部専用廊下として、病棟・診療棟側の手術エリアとダイレクトに接続



サーバー室

- サーバー室は、セキュリティに配慮
- サーバーに対する空調に配慮し、床吹き出し空調を採用



デイケア室

- 精神科デイケア室は、静かで光が入る4階に配置
- 内装も、明るい木質調を採用

- 中央当直室
- 当直室も中央化し、効率化
 - 室形状を同仕様とし、フリーアドレスで利用



職員更衣室

- 職員更衣室は、一箇所に集め、効率化
- 2箇所のリフレッシュ室で職員アメニティに配慮



事務管理部門

- 大部屋形式、床をOAフロアとし、将来の改変にも柔軟に改修可能なプラン

- 特殊診療科
- 精神科神経科、歯科口腔外科、口腔ケアセンター、皮膚科など、特殊室が必要な部門は、静かな4階に設置

4階案内図



ホワイエ

- ホールでのイベント時の待機空間
- 可動間仕切を開放し、スキルズラボを拡張して利用が可能



ホール1

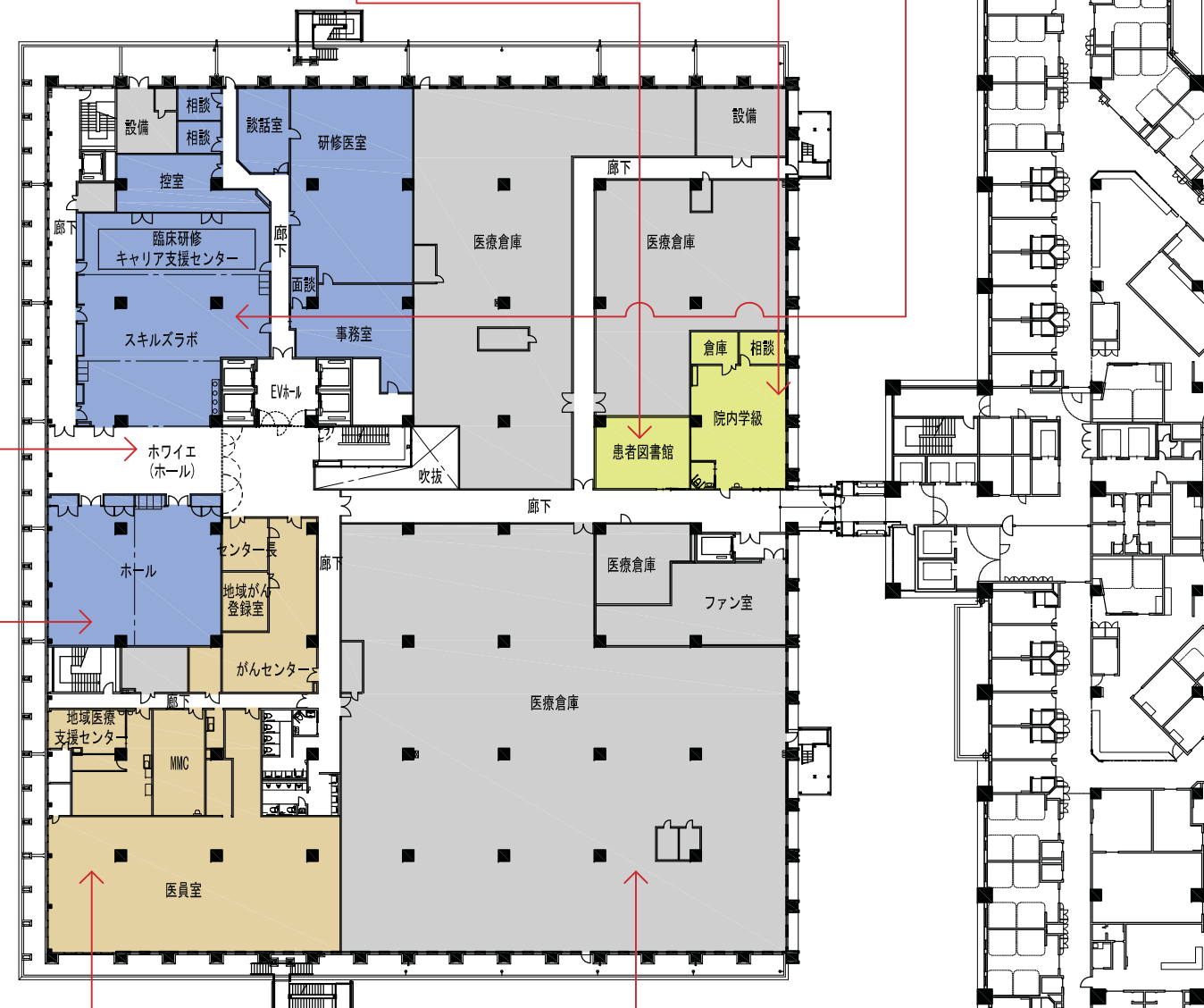
- 学術講演や市民講演会など多様な用途で利用可能な大空間

患者図書館

- 外来来訪者も病棟患者も利用できる患者図書館

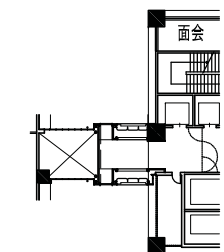
院内学級

- 病棟・診療棟、小児科階から、渡り廊下で接続
- 病棟・診療棟から移動することで登校する意識に変化



臨床研修
キャリア支援センター

- 学生の研鑽の場として、スキルズラボを設置



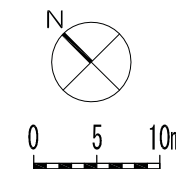
病棟・診療棟5階連結部
案内図

医員室

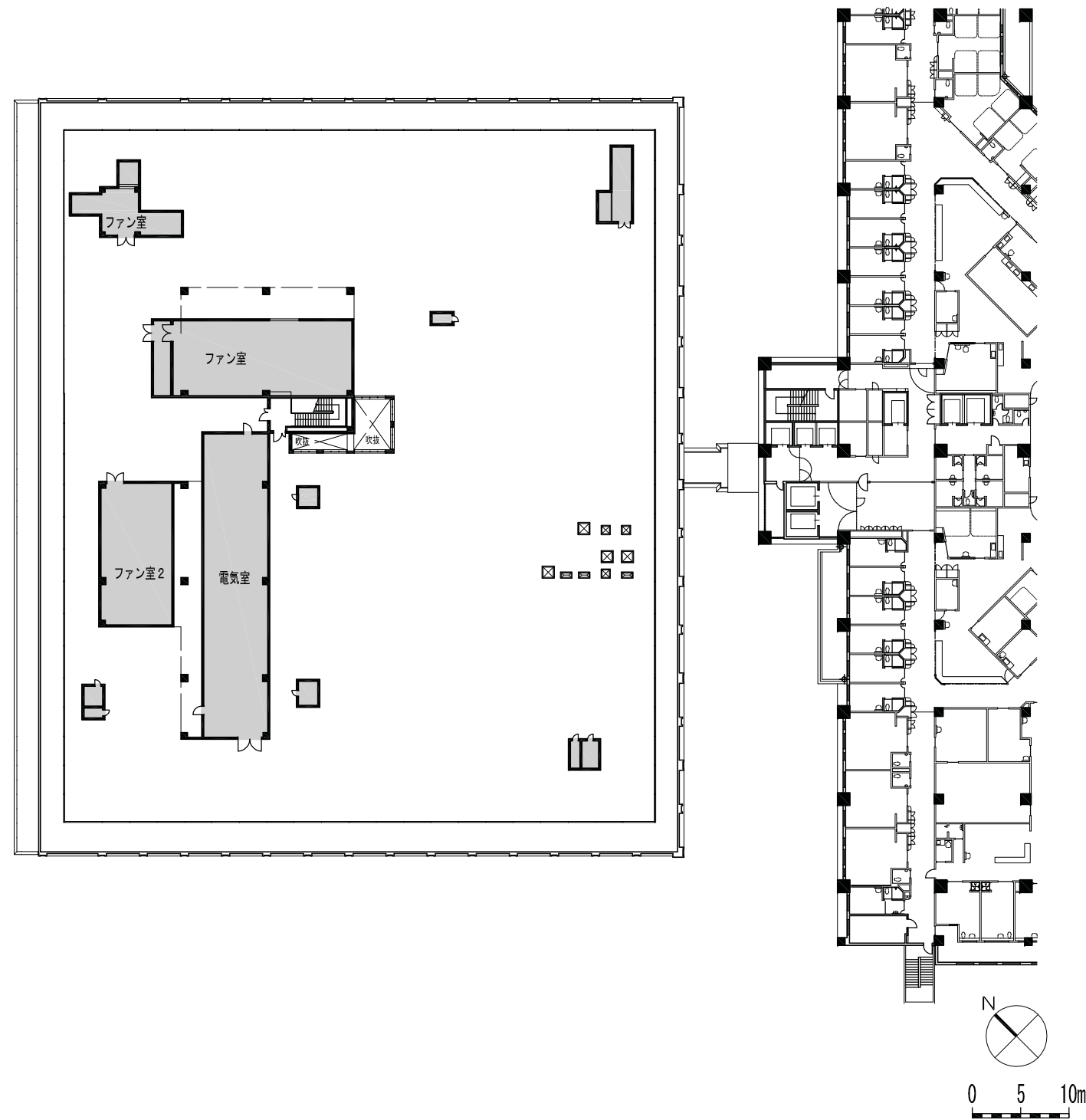
- 外来メイン動線と分離した静かな場
- 病棟・診療棟へも近い配置

医療倉庫

- 将来の医療機能の変化に対応する改修が可能
- 免震建物であり、増築が困難である為、予備空間としての対応に配慮



5階案内図



R階案内図